

環境経営レポート

(対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日)

第07号



株式会社 中村機工

作成日:2024年12月20日

目 次

I. 組織の概要	...	P 1
II. 実施体制	...	P 2
III. 環境経営方針	...	P 3
IV. 環境経営目標	...	P 4
V. 環境経営計画	...	P 5
VI. 環境経営目標の実績とその評価	...	P 6
VII. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 ・取組結果とその評価、次年度の取組内容	...	P 7
VIII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	...	P 9
IX. 当社の取組み 地域との融合	...	P 10
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示	...	P 11
【その他添付資料】 ・環境上の緊急対策		

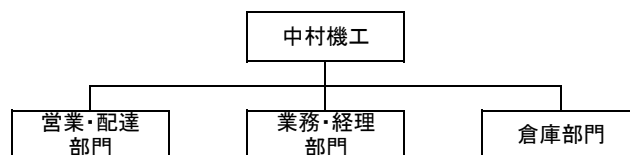
I 組織の概要

1. 事業者名 株式会社中村機工
2. 代表者氏名 代表取締役 中村昌典
3. 所在地 本社) 静岡県静岡市清水区神田町 18-13
第二倉庫) 静岡県静岡市清水区洪川二丁目 28番地 2
4. 事業活動 機械・工具・機械要素部品等の販売
専用機、治具等の製作請負
工場設備工事全般の請負
機械部品の輸出入
海外進出及び販路拡大のサポート
5. 従業員数 16名
6. 環境管理責任者 杉山由希子
連絡担当者 杉山由希子
7. 連絡先 TEL (054)-352-6191
FAX (054)-352-2325
(E-mail: nakamura@na-kiko.jp)
8. 建設業許可
建設業
静岡県知事許可(般-5)第 39283 号
建設業の種類: 管工事業
許可年月日: 2023年5月15日 有効期限: 2028年5月14日

産業廃棄物収集・運搬業 ※自社運搬のみ
静岡県 第02201229318
許可品目: 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、
がれき類、紙くず、木くず、繊維くず
許可年月日: 2022年7月21日 有効期限: 2027年7月20日
9. 事業の規模
① 設立(現在地) 1972年9月

② 事業規模
- | 活動規模 | 単位 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|---------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 百万円 | 629 | 720 | 719 | 861 |
| 従業員 | 人 | 19 | 16 | 16 | 16 |
| 事務所床面積 | m ² | 207 | 207 | 207 | 207 |
| 本社倉庫床面積 | m ² | 165 | 165 | 165 | 165 |
| 第二倉庫床面積 | m ² | 96 | 96 | 96 | 96 |
10. 事業年度
4月1日～翌年3月31日
11. レポートの対象期間及び発行日
環境経営レポート対象期間(2023年4月1日～2024年3月31日)
環境経営レポート発行日(2024年12月 20日)
- 12 認証・登録の対象範囲
活動: 生産設備・工具・工場用品・機械要素部品・材料等の販売
請負事業(専用機械・治具等の製作、部品加工)
請負工事全般の管理
機械部品の輸出入
海外進出及び販路拡大のサポート

対象組織:【全組織】本社(営業・配達部門、業務・経理部門、本社倉庫)・第二倉庫

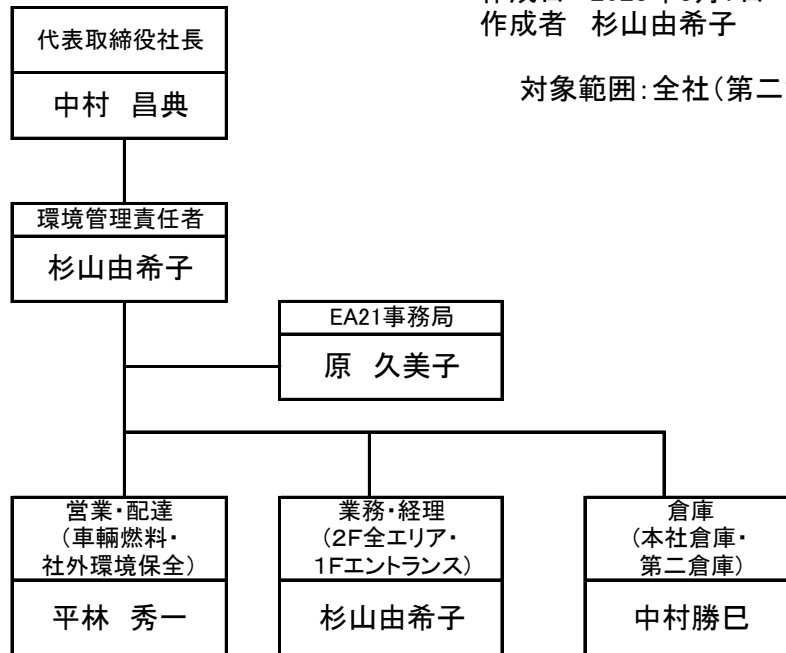


Ⅱ 実施体制

作成日 2023年3月7日

作成者 杉山由希子

対象範囲: 全社(第二倉庫含む)



<関係者の権限と役割>

社長

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境経営に必要な資源の準備
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境管理責任者の任命

環境管理責任者

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境目標及び環境活動計画の作成
- ③ 取組状況の社長への報告
- ④ 環境活動レポートの作成

EA21事務局

- ① 環境負荷データ等の集計
- ② 環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③ 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤ 法規制の遵守状況チェック
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門長

- ① 部門の環境活動計画の実施
- ② 部門データの集計
- ③ 部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④ 部門取組状況の事務局への報告
- ⑤ 部門の従業員教育

その他の従業員

- ① 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

Ⅲ 環境経営方針

株式会社 中村機工 環境方針

<企業理念>

ひたむきに正道を邁進し
期待と信頼に100%応えます。

ファクトリードクターとして
お取引先様の発展に貢献し、
全社員の自己実現を目指します。

<環境方針>

我が社は企業理念、経営方針に基づき
環境方針を定め
継続的な環境経営を展開します。

- 1、「我々の事業活動が、環境にどのような影響を及ぼすのか」
を理解した上で、環境保全に視点を置いた事業活動を推進します。
 - ① CO2削減の為に省エネに取り組めます。
 - ② 廃棄物の削減と再資源化の推進をします。
 - ③ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
 - ④ グリーン商品の調達と拡販に努めます。
- 2、環境目標の達成状況、並びに活動計画の実施状況を定期的に確認評価し
継続的に環境経営を改善していきます。
- 3、環境に関する法規制及び協定を遵守します。
- 4、全社員が環境方針を理解した上で、掲示による周知徹底と計画的な社員教育を実施し、
環境問題への意識向上を図ります。
- 5、社外に環境活動レポートを公開し、社会とのより良いコミュニケーションを図ります。

(制定) 2017年10月20日
株式会社 中村機工
代表取締役 中村昌典

IV 環境経営目標

1. 2023年度及び運用期間(2023年4月～2024年3月)

項目		単位	基準期間	運用期間	
			2019年4月～2020年3月	2023年4月～2024年3月	
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	34,447	-5%	32,725
内訳	電力	kWh	14,674	-5%	13,940
	ガソリン	L	11,883	-5%	11,289
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	794.50	-5%	754.8
	産業廃棄物排出量	kg	670.0	-5%	636.5
水道使用量の削減		m ³	87.0	-5%	82.7
事務用品のグリーン購入品向上		品	6	+4	10
環境に配慮した自社の取り組み	包装資材の購入量	円	1620	-5%	1539
	省エネ機器の積極的販売	品	0	+4	4

＜備考＞目標削減率は、目標値に対する削減量の割合である。“－”がないものは増加を表す。

2. 短期・中期の環境目標

項目		単位	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度
			基準年(実績)	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量(事務所)		kg-CO ₂	34,447	-4%	-5%	-6%
内訳	電力	kWh	14,674	-4%	-5%	-6%
	ガソリン	L	11,883	-4%	-5%	-6%
廃棄物	一般廃棄物排出量 ※1	kg	794.5	-4%	-5%	-6%
	産業廃棄物排出量	kg	670	-4%	-5%	-6%
水道使用量の削減		m ³	87	-4%	-5%	-6%
事務用品のグリーン購入品向上		品	6	3品	4品	－
環境に配慮した自社の取り組み	包装資材の購入量	円	1620	-4%	-5%	-6%
	省エネ機器の積極的販売	品	0	3品	4品	5品

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力(2019年度)の調整後排出係数「0.426kg-CO₂/kWh」を使用した。

※1 2019年4月～2020年3月の現状把握を基に2022年度～2024年度の目標を設定した。

※2 「事務用品のグリーン購入品向上」は2024年度より削除

V 環境経営計画

(取組期間: 2023年4月～2024年3月)

目的	区分	項目	責任者	活動項目	スケジュール			
					4月	7月	10月	1月
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	杉山	① 消灯の徹底				→
				② 人感センサーの導入	検討	→		→
				③ 節電表示				→
		空調	杉山	① 温度設定夏26℃ 冬20℃				→
				② クールビズ、ウォームビズ				→
				③ フィルター定期清掃	月初	月初	月初	月初
				④ 使用していない部屋の空調停止				→
		PC	杉山	① 離席時モニタ消灯				→
				② 退社時の主電源消灯				→
				③ 節電設定				→
		その他	杉山	① 加湿器、暖房器具のタイマー使用				→
				② 食器乾燥機のまとめ使用				→
				③ 冷蔵庫の保冷対策	→	→		
	ガソリン	乗用車 トラック	平林	① エコドライブ				→
				② エコ整備				→
				③ 日常・定期点検の実施				→
				④ 省エネ車の導入検討				→
				⑤ 排ガス対応車の導入検討				→
				⑥ アイドリングストップ				→
廃棄物のリサイクル	事務所		杉山	① コピー用紙の両面使用				→
				② 集約化購買				→
				③ FAXのPDF化				→
				④ 3Rの実践				→
				⑤ 廃棄物の分別とリサイクル				→
	建設副産物のリサイクル		勝巳	① 廃棄物の分別化				→
節水	上水		杉山	② 分別ルート新規開拓				→
				③ 仮設資材、用具のリユース化				→
				① 節水表示				→
グリーン購入	事務用品他		原	② 浸け置き洗いの徹底				→
				③ 蛇口水量の調節				→
				① 環境ラベル対応品の購入検討				→
環境に配慮した取り組み	包装資材 省エネ機器		平林	② 何回も使える物購入検討				→
				① 梱包資材のリサイクル使用				→
				② 省エネ機器のPR活動				→
地域貢献			勝巳	① 掲示板による環境問題の啓蒙活動	検討	→		→
				② 近隣道路清掃				→

VI 環境経営目標の実績とその評価

運用期間(2023年4月～2024年3月)

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2019年4月 ～ 2020年3月	2023年4月～2024年3月				
			基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	34,447	-5%	32,725	-33%	22,939	○
二酸化炭素排出量(社員一人当)		kg-CO ₂ /人	1,913	-5%	1,817	-25%	1,433	○
内訳	電力	kWh	14,674	-5%	13,940	-22%	11,477	○
	ガソリン	L	11,883	-5%	11,289	-35%	7,780	○
	ガソリン(営業一人当)※	L	1,080	-5%	1,026	-10%	973	○
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	794.50	-5%	754.8	-48%	391.00	○
	産業廃棄物排出量	kg	670.0	-5%	636.5	269%	2,470	×
水道使用量の削減		m ³	87.0	-5%	82.7	14%	99	×
事務用品のグリーン購入品向上		品	6	4	9	-	0	×
環境に配慮した自社の取り組み	包装資材の購入量	円	1620.0	-5%	1539	0	0.0	-
	省エネ機器の積極的販売	品	0.0	4	4.0	0	0.0	-

＜備考＞削減比率は、目標値に対する削減量の割合である。“-”がないものは増加を表す。

＜評価＞

ガソリン	原因	① 県内遠方の客先の訪問日を決めた。
		② 社用車をリースにしたため定期点検を行っている
	是正	① 客先にも訪問曜日を伝え、過剰サービスを減らしている
		② 事前に車の不備がわかるようになった
電力	原因	① 昨年エアコンの入れ替えを行った
		②
	是正	① 消費電力が減り、効きもよくなった
		②
廃棄物	原因	① 工事案件が増えた
		②
	是正	① 分別して業者に引き渡し、有価物にできるようにする
		②
水道使用量の削減	原因	① 2年続けて使用量増加
		②
	是正	① コロナ前に近づいている。原因を探る
		②
グリーン購入品 環境に配慮した取組	原因	① まとめ買いの推奨
		② 来客者のお茶をラベルなしのペットボトルへ
	是正	① 商品の切り替えだけでなく、単品からお得パック等に切り替え
		② ラベル廃棄、お茶出し等の手間を削減

Ⅶ 環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、 次年度の取組内容

（取組期間：2023年4月～2024年3月）

目的	区分	項目	責任者	活動項目	評 価		今後（次年度）の取組
					評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	杉山	① 消灯の徹底	○	離席時の消灯が徹底できた	次年度以降も継続
				② 人感センサーの導入	×	検討したが設置個所まで至らず	階段等から検討したい
				③ 節電表示	○	注意箇所が徹底できた	
		空調	杉山	① 温度設定夏26℃（実質室内温度27℃）冬20℃	○	パネル付近に設定温度を表示して徹底できた	窓を開けているため表示気温より上限あり
				② クールビズ、ウォームビズ	○	衣替え時期を適宜変更	次年度以降も継続
				③ フィルター定期清掃	○	月に一度、声をかけて清掃できた	次年度以降も継続
				④ 省エネ型空調機更新	—	前年度更新	
				⑤ 使用していない部屋の空調停止	○	最後に退席する者が消す	次年度以降も継続
		PC	杉山	① 離席時モニタ消灯	○	5分以上使用されない時は消灯設定	次年度以降も継続
				② 退社時の主電源消灯	○	鍵当番が消灯確認	次年度以降も継続
				③ 節電設定	○	PCのモニタ、複合機等節電設定完了	次年度以降も継続
		その他	杉山	① 加湿器、暖房器具のタイマー使用	○	退社予定時刻に合わせて使用できた	次年度以降も継続
				② 食器乾燥機のまとめ使用	○	朝、昼の食器が多い時に使用	次年度以降も継続
				③ 冷蔵庫の保冷対策	○	外気温によって庫内の温度を設定する	次年度以降も継続
	ガソリン	乗用車 トラック	平林	① エコドライブ	△	毎週朝礼にて運転5則の唱和	エコドライブが視認できる環境を
				② エコ整備	×	定期点検のみ	点検時にエコ整備可能か見積を取る
				③ 日常・定期点検の実施	○	月一で社内の状況確認	チェックがなくてもきれいに保つように
				④ 省エネ車の導入検討	×	導入検討できなかった	古い車から検討する
				⑤ 排ガス対応車の導入検討	×	導入検討できなかった	古い車から検討する
				⑥ アイドリングストップ	△	各営業に委ねている	自己チェックできる体制を作る
廃棄物のリサイクル	事務所	杉山		① コピー用紙の両面使用	○	選別BOXを設置	裏紙が少ないときは声掛け
				② 集約化購買	○	ノートに書き溜め、まとめ購入	次年度以降も継続
				③ FAXのPDF化	△	一部導入	業務のみ導入
				④ 3Rの実践	○		次年度以降も継続
				⑤ 廃棄物の分別とリサイクル	○	分別回収	次年度以降も継続
	建設副産物のリサイクル	勝巳		① 廃棄物の分別化	○	分別後の置場を明確にしている	置場管理の徹底
				② 分別ルート新規開拓	—	既存会社で分別、廃棄可能	
節水	上水	杉山		③ 仮設資材、用具のリユース化	○	使用可能な資材、用具をまとめておく	使用者以外もわかるようにする
				① 節水表示	○	台所に使用目安の表示	次年度以降も継続
				② 浸け置き洗いの徹底	○	午前の食器洗いにまとめている	次年度以降も継続
グリーン購入	事務用品 他	原		③ 蛇口水量の調節	○	全開にしても水量が出ないようにする	次年度以降も継続
				① 環境ラベル対応品の購入検討	○	切替可能なものから変更	次年度以降も継続
環境に配慮した取り組み	包装資材 省エネ機器	平林		② 何回も使える物購入検討	○	詰替え用を購入	次年度以降も継続
				① 梱包資材のリサイクル使用	○	資材ごとに分けて保管、使用	次年度以降も継続
地域貢献		勝巳		② 省エネ機器のPR活動	△	計画的にPRしたい	次年度以降も継続
				① 掲示板による環境問題の啓蒙活動	○	通行人にもわかる掲示物	季節に応じた掲示物
				② 近隣道路清掃	○	土曜出勤時に清掃	次年度以降も継続

<備考>

- 取組期間の評価は2023年4月～2024年3月の実績評価である。
- 評価判定
○（良くてきた）・△（まあまあできてきた）・×（できなかった）・-（実施が見送られた）

Ⅷ 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024年11月29日

評価者 環境管理責任者
杉山 由希子

法規・条例・規制	条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	・保管基準の遵守、保管場所の表示(60cm×60cm 以上掲示) ・廃棄物の悪臭・飛散防止	○
	第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
	第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○
	第12条の3第1項	manifestoの交付		○
	第12条の3第2項	manifestoの保管	A票、5年間保管	○
	第12条の3第3項	収集・運搬業者の管理票交付者へのmanifesto返却	B1票の90日以内の送付等	-
	第12条の3第6項	manifestoの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
	第12条の3第7項	manifesto交付状況の知事報告		○
	第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのB2(90日以内)、D、E票(180日以内)の期間内返却	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第10条	委託先の実地確認と記録の保存	実地確認(年1回)及び記録の5年間保存 優良認定業者の場合はネットで確認可	○
建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	第5条	建設業者(元請)の責務	分別の励行、リサイクルの推進	○
家電リサイクル法	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫他)廃棄時のサイクル料金の支払	-
自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		-
	第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)	-
フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第16条	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 電動機定格出力に応じ有資格者による「定期点検」	室外機2台	○
	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務	-
建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○
	第25条第1項	主任技術者の設置		○
	第25条第2項	管理技術者の設置		○
環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力(温室効果ガス抑制措置)	EA21の取組	○
循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力(廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進)	○
リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	第4条	指定再資源化製品のリサイクルへの協力(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○
グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)	第5条	事業者の責務(国等の施策への協力等)	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	-

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの苦情及び訴訟は過去3年間ありませんでした。

VII 当社の取組み

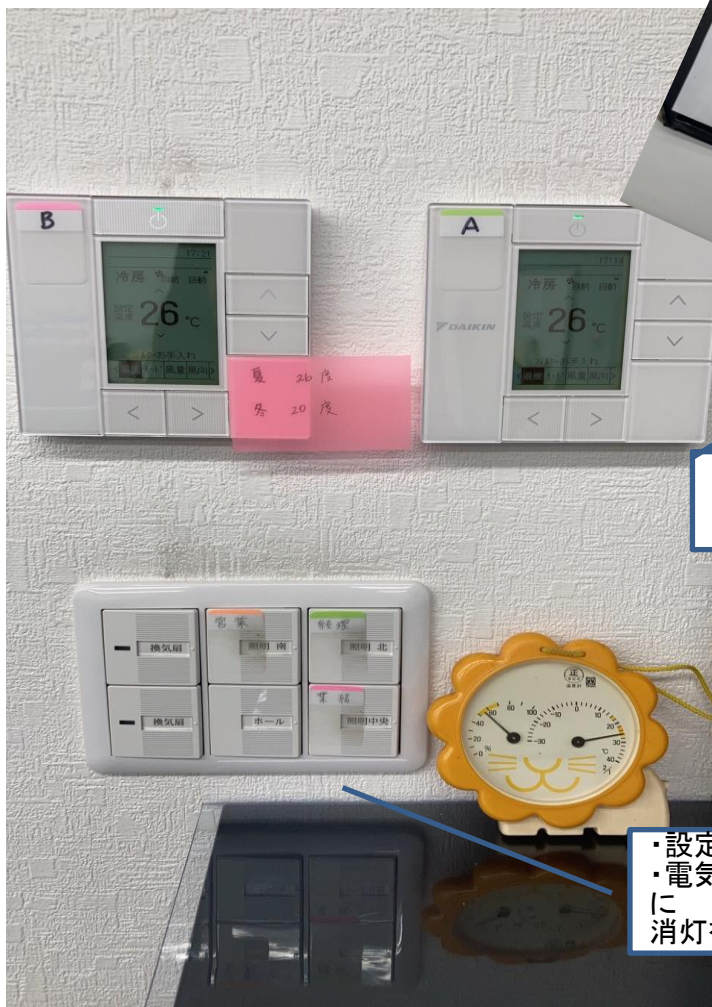
◆社内注意書きで社員の意識づけ◆



裏紙を無駄にしないよう声掛けをしています！！



営業終了時の電気の消し忘れ防止に
チェック表を活用しています。



・設定温度を記載
・電気のエリアをシールで区分して、こまめに
消灯をし、節電を意識しています。

◆地域との融合◆

【周辺清掃活動】



【掲示板の活用】

夜間にはライトが点灯します。

地域の方へも早めのライト点滅を推奨します。



【ゴミを増やさない活動】

年末に余った来年度のカレンダーを置き、ゴミにならないよう努めます。
※毎年地域の皆様に喜ばれる活動の1つです。



Ⅸ 代表者による全体の評価と見直し・指示

1・見直し関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ 電気、ガソリン共に削減しました。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載いたしました。
	5	その他()	☐

2・代表者による全体評価・見直し指示	後段にも記載しましたが「実施体制の変更」が必要です。 責任者の杉山さんが多忙な為、エコアクション活動が後回しになり、レポート作成が遅れる状況が続いています。 レポート作成も大事ですが、もっと大事な「次の環境経営活動を考え実行すること」に注力し、メンバーを牽引して下さい。 この1年、有望な社員も増えました。 メンバー構成を見直し、新しい体制で来年度は臨んで下さい。 2024年 12月 20 日 株式会社 中村機工 代表取締役 中村 昌典		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有 ☒ 無	
	2 環境経営目標	有・ ☒ 無	
	3 環境経営計画	有 ☒ 無	
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	☒ 有・無	「環境経営レポート」の作成者を別途任命し、環境管理責任者の杉山はスケジュール管理も含めた活動全体に目を配る体制に変更する。(2024年度のレポート完成は2025年6月末とする)
	5 その他のシステム要素	有・無	

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日 2024/12/20
作成者 杉山由希子

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン4	社内(事務所・倉庫)での転倒事故	荷物置き場からはみ出して置かれている	・荷物置き場テープの張り直し ・置き方ルールの徹底
パターン9	会社前交差点での事故	夕暮れ時の歩行者飛び出し、ドライバーの見落とし	会社掲示板を利用した啓もう活動

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2023年 4月1日	社内(事務所・倉庫)での転倒事故	荷物置き場からはみ出して置かれている	・荷物置き場テープの張り直し ・置き方ルールの徹底
参加者		全社員	
※評価と改善策			
①テープが剥がれていたため張替。 ②棚から出てしまう長尺のものは印をつけて注意を促す。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2023年 11月14日	会社前交差点での事故	夕暮れ時の飛び出し、見落とし	掲示板を活用した啓もう活動
参加者		エコアクション実行委員	
※評価と改善策			
道路に面した掲示板にポスターを貼って歩行者に啓もう。 人感センサーライトと一緒に置き、ポスターをアピール。			